

# 宮崎大学医学部附属病院 外科 専門修練プログラム

外科専門医養成は当院では第一外科と第二外科で担当しておりますので、プログラムは全項目で診療科毎に記載しております。

## 1. プログラムの概略・特徴

### <第一外科>

本コースは、卒後臨床研修修了後4年間で外科専門医資格を取得することを目指すものである。

### <第二外科>

当科は、心臓・血管外科、呼吸器・食道・胸壁・乳腺外科および消化器・内分泌・一般外科という幅広い外科の分野をカバーしている。外科専門医の取得の際、必須とされる手術の経験（消化管及び腹部内臓、乳腺、呼吸器、心臓・大血管、末梢血管、頭頸部・体表・内分泌、小児外科、各臓器の外傷鏡下手術）をすべて第二外科内で行うことができ、卒後臨床研修修了後4年間で日本外科学会専門医資格を取得することが可能である。

## 2. 研修目標

### 【一般目標】

#### <第一外科>

外科専門医取得は、一般外科医療に関する標準的な知識と技量を習得したことを示すものである。また、その後の subspecialty としての消化器外科など、各種外科関連専門医取得に必須となる。プログラム期間内に外科専門医取得のための必要な症例数の経験や業績を積み重ね、最短でコース4年目で外科専門医を取得することができるようにする。

#### <第二外科>

第二外科の3つの診療グループをローテートし、外科専門医の取得のために必須とされる手術の経験（消化管及び腹部内臓、乳腺、呼吸器、心臓・大血管、末梢血管、頭頸部・体表・内分泌、小児外科、各臓器の外傷鏡下手術）を積み、外科専門医となり、さらなる専門分野を目指すことのできる医師を目指す。

### 【行動目標】

#### <第一外科>

当科に入局後日本外科学会に入会し、当科及び当科関連施設で、日本外科学会による外科専門医取得のための修練カリキュラムに沿って研修を受ける。呼吸器、心臓大血管、末梢血管の手術経験は、同疾患症例の多い関連病院を含めて修練を受ける。必要経験（350例以上の手術手技を経験（うち120例以上は術者としての経験）を認定試験申請までに済ませる。最短で3年目で筆記試験である予備試験を受け、4年目で認定試験である面接試験を受け、外科専門医資格を取得する。

#### <第二外科>

①呼吸器・心臓血管・消化器および内分泌外科系の発生、構造と機能を理解し、各疾患の病因、病理病態、

疫学に関する専門的知識を習得できる。

- ②呼吸器・心臓血管・消化器および内分泌疾患の診断に必要な問診および身体診察を行い、それに対する理学的所見を取得できる。また画像検査（X線、CT、MRIなど）の専門的読影を習得できる。さらに超音波検査、各種内視鏡、カテーテル検査など特殊検査を実際に行い評価できる。
- ③各疾患別に一般状態、加齢、臓器機能、合併疾患を評価し、総合的な治療計画の策定と手術適応の決定、術式の選択ができる。
- ④患者とその家族に病状と外科的治療に関する適応、合併症、予後について十分な説明ができる。
- ⑤高齢者、ハイリスク患者を含む複雑合併症を有する手術症例を十分に経験し評価することができる。

### 3. 研修スケジュール

#### <第一外科>

卒後臨床研修修了後の最短コース

- 1年目 第一外科入局、大学病院で外科を研修。
- 2～3年目 大学病院もしくは関連病院で外科医としての研鑽を積む。
- 3年目 予備試験を受ける。
- 4年目 認定試験を受け、専門医を取得する。

その後 大学院に入るなどして基礎あるいは臨床研究を行うか、大学院の高度臨床医育成コースもしくは医員として臓器別専門医（消化器外科、肝胆膵外科、食道・胃外科、大腸肛門病外科、乳腺内分泌外科、内視鏡外科などの専門医）や幅広い一般外科医の道を歩む。

#### <第二外科>

卒後臨床研修修了後の最短コース

- 1年目 第二外科に入局。基本的には入局年は大学病院内で外科研修を行う。  
希望によっては関連施設での修練も可能。
- 2～3年目 大学病院内もしくは関連施設で修練を積む。この期間は手術術者としての経験を積めるようプログラムされる。また3年目終了までに心臓血管外科、呼吸器・胸部外科、消化器・内分泌外科にて最低6ヶ月間研修を積む。3年目終了時点で予日本外科学会専門医予備試験を受けることができる。
- 4年目 認定試験を受け、専門医を取得する。

その後も希望があれば各チームをローテーションは可能であるが、入局後5年目くらいまでには希望する専門分野のチームスタッフとなり各領域で専門技術を高めていく。しかしその個人の希望および目的に応じたプログラムを組むことも可能であり、大学院における基礎・臨床研究や関連施設に多く出向し総合外科医として進むこともできる。

### 4. 評価

#### <第一外科>

目標に沿った研修を行い、最終的には日本外科学会の資格認定試験により判断される。

#### <第二外科>

日本外科学会外科専門医の取得

## 5. 募集人員

第一外科：5名

第二外科：5名

## 6. 実施責任者

第一外科：宮崎大学医学部外科学講座 腫瘍機能制御外科学分野 教授 千々岩 一男

第二外科：宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野 教授 鬼塚 敏男

## 7. 指導責任者

### <第一外科>

宮崎大学医学部外科学講座 腫瘍機能制御外科学分野 教授 千々岩 一男  
同 准教授 近藤 千博  
同 講師 甲斐 真弘  
同 講師 佛坂 正幸  
同 助教 日高 秀樹  
同 助教 藤井 義郎  
同 助教 大谷 和広  
同 助教 前原 直樹  
同 助教 大内田 次郎  
同 助教 内山 周一郎  
同 助教 石崎 秀信  
同 助教 旭吉 雅秀  
同 助教 永野 元章  
同 助教 今村 直哉

### <第二外科>

宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野 教授 鬼塚 敏男  
同 准教授 中村 都英  
同 講師 清水 哲哉  
同 助教 長濱 博幸  
同 助教 富田 雅樹  
同 助教 綾部 貴典  
同 助教 松山 正和  
同 助教 河野 文彰  
同 助教 和田 俊介

## 8. 関連施設、学会認定状況

### <第一外科>

指定施設：宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、宮崎市郡医師会病院、都城市郡医師会病院、潤和会記念病院、藤元早鈴病院など。

関連施設：黒木病院、南部病院、増田病院など。

## <第二外科>

指定施設：宮崎大学医学部附属病院、宮崎県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院、佐世保市立総合病院、同心会古賀総合病院、国立病院機構南九州病院など。

関連施設：宮崎県立日南病院、宮崎善仁会病院、済生会日向病院、千代田病院、国立病院機構宮崎東病院、宮崎市立田野病院、仮屋外科胃腸科、百瀬病院、迫田病院、延岡共立病院、藤木病院など。

## 9. その他

### <第一外科>

本コースで、現在 21 名の外科専門医と、13 名の消化器外科専門医が当科で勤務している（関連病院を含めると外科専門医 37 名）。当科及び関連医療機関で、少なくとも年間 2000 例以上の手術が行われている。外科専門医取得後、消化器外科専門医、さらに、日本肝胆膵外科学会高度技能医などの資格取得をめざすことも可能で、また、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、内視鏡外科学会技術認定医、大腸肛門病学会専門医、食道科認定医なども取得可能である。

### <第二外科>

当科では外科専門医だけでなく下記の専門医取得も可能です。

呼吸器外科専門医（卒後 8 年）、気管支鏡専門医（卒後 7 年）、

内視鏡外科専門医（卒後 8 年）、心臓血管外科専門医（卒後 8 年）、

循環器専門医（卒後 8 年）、消化器外科専門医（卒後 8 年）、消化器病専門医（卒後 8 年）

消化器内視鏡専門医（卒後 8 年） \*（ ）は最短の取得年数を示す。

当科では、心臓血管外科グループ、胸部外科グループ（呼吸器・食道・乳腺など）、腹部・一般外科グループ（消化器・一般外科および内分泌外科）のすべてを最低半年以上修練するため、総合的な手術手技を習得することが可能である。日本外科学会専門医を取得した後に各専門領域の修練および専門医取得を行っていく。

## 10. 連絡先

### <第一外科>

宮崎大学医学部外科学講座 腫瘍機能制御外科学分野

医局長：前原 直樹

TEL：0985-85-2808

FAX：0985-85-5814

E-mail：nmaehar3@med.miyazaki-u.ac.jp

### <第二外科>

宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野

医局長：長濱 博幸

TEL：0985-85-2291

FAX：0985-85-5563

E-mail：dhirokun@med.miyazaki-u.ac.jp